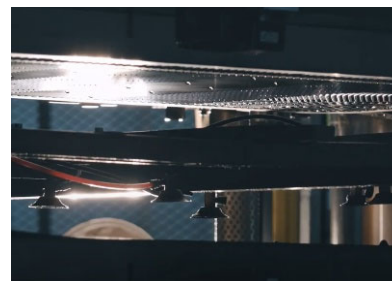


2024年3月期 第2四半期 決算説明会 資料



2023年12月1日

目次

■ 会社概要	・ ・ ・	2
■ 2024年3月期第2四半期決算の概要	・ ・ ・	4
■ 2024年3月期決算の見通し	・ ・ ・	15
■ 企業価値向上に向けた取り組み	・ ・ ・	24

会社概要

社名	株式会社 日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業年月	1942年5月（昭和17年5月）
事業内容	産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業
資本金	41億5千万円
発行済株式総数	32,732,800株
株式上場	東京証券取引所 プライム市場
売上高	340億円（連結／2023年3月期）
従業員数	1,013名（連結）
関係会社数	10社（海外関係会社含む 2023年10月1日現在）
国内拠点	大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所、生駒事業所（2024年1月1日開設） 東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・さいたま・千葉・尾道営業所
海外拠点	マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、 サウジアラビア、韓国

※2023年9月末現在

日阪グループの事業構成

売上高比率
(2023年3月期実績)

熱交換器事業

39.4%

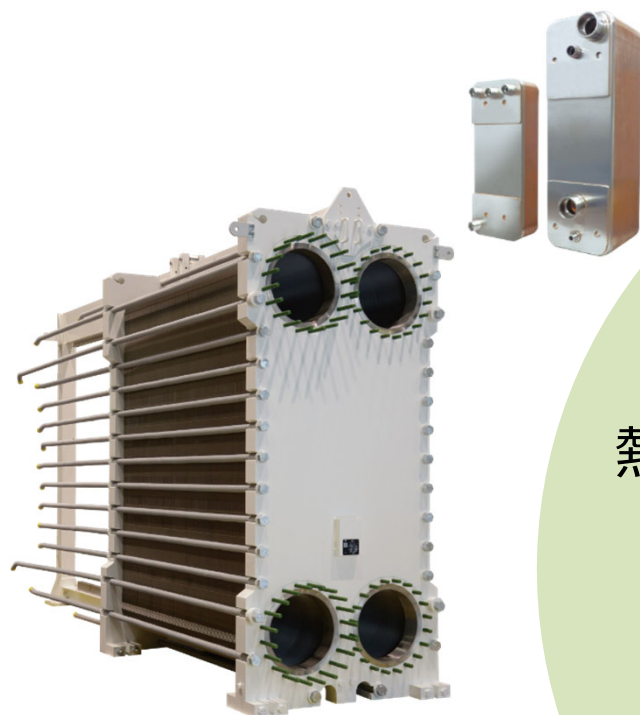
プロセス
エンジニアリング
(P E) 事業

46.6%

バルブ
事業

13.8%

その他
0.2%



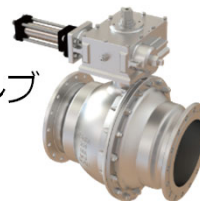
●プレート式熱交換器



●太陽光発電事業
(その他)



●ボールバルブ



●レトルト調理殺菌装置



●連続液体滅菌装置



●液流染色機



●全自動連続殺菌冷却装置
(株日阪プロダクツ)

2024年3月期第2四半期 決算の概要

1-①. 決算の概要 (対前年同期比)

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	16,771	—	20,107	—	3,336	19.9%
うち、海外受注高	4,248		4,128		▲ 120	▲ 2.8%
売上高	15,555	—	16,520	—	965	6.2%
うち、海外売上高	3,042		3,639		597	19.6%
営業利益	1,021	6.6%	851	5.2%	▲ 170	▲ 16.7%
経常利益	1,375	8.8%	1,146	6.9%	▲ 229	▲ 16.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	897	5.8%	814	4.9%	▲ 82	▲ 9.2%

1-②. 決算の概要 (計画比)

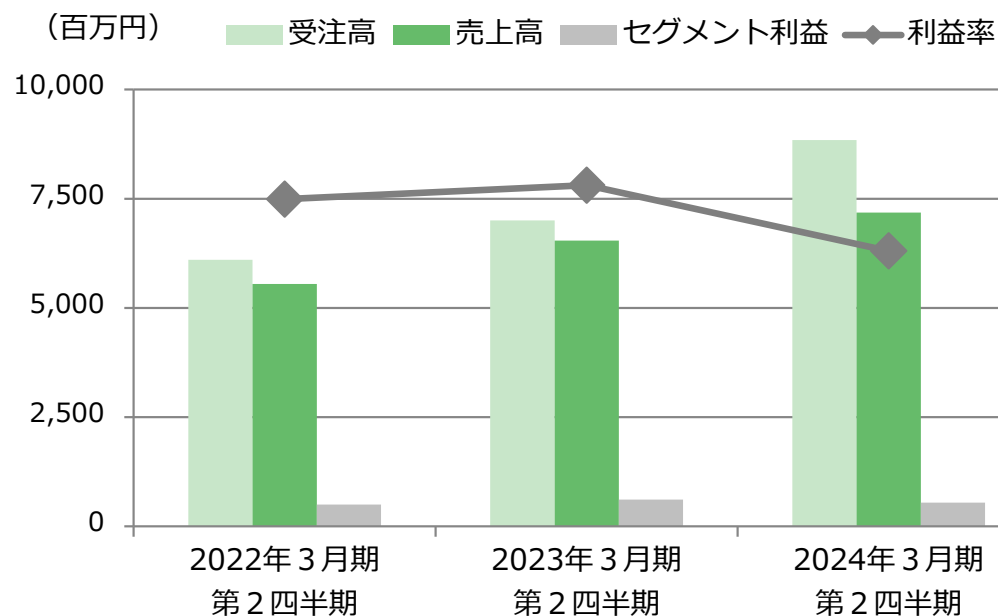
(百万円)

	2024年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期 計画比			
	計画	利益率	実績	利益率	差額	達成率
受注高	18,400	—	20,107	—	1,707	109.3%
売上高	17,500	—	16,520	—	▲ 979	94.4%
営業利益	1,060	6.1%	851	5.2%	▲ 208	80.3%
経常利益	1,210	6.9%	1,146	6.9%	▲ 63	94.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	740	4.2%	814	4.9%	74	110.1%

2-①. 熱交換器事業 (対前年同期比)

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	7,006	—	8,841	—	1,835	26.2%
うち、海外受注高	1,694		3,237		1,543	91.1%
売上高	6,542	—	7,186	—	644	9.8%
うち、海外売上高	1,511		1,718		207	13.7%
セグメント利益	613	9.4%	543	7.6%	▲ 69	▲ 11.3%



<受注高>

- 電力や空調向けの中小型汎用品、新造船の需要拡大による船舶向けが好調
- エネルギー関連の大口プラント案件

<売上高>

- 半導体や電力向けなどの中小型汎用品、メンテナンス関連が好調

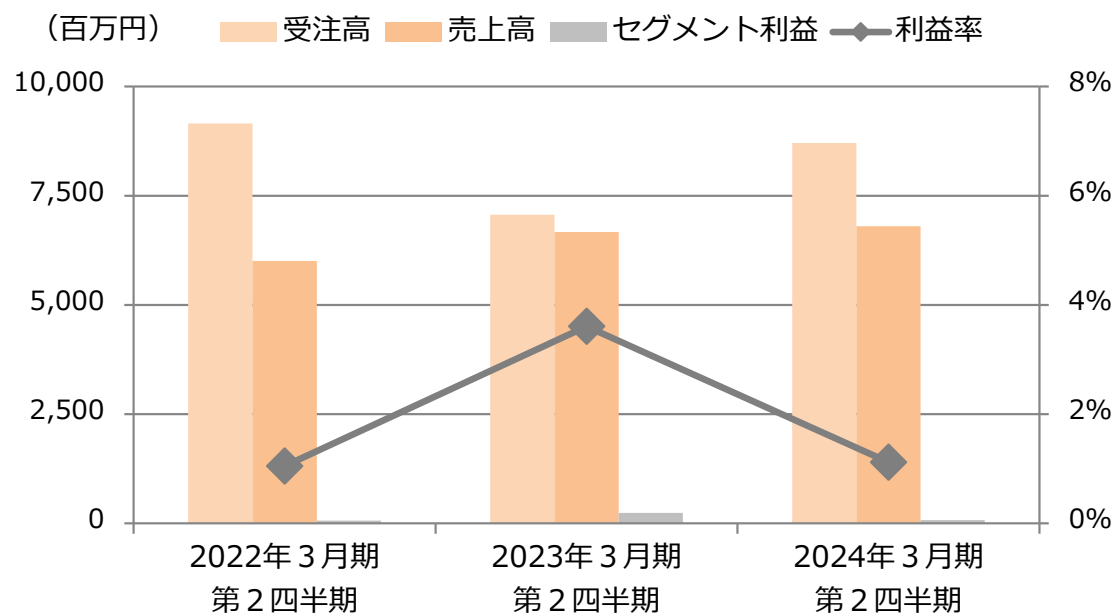
<セグメント利益>

- × 原材料価格の高騰による不採算案件の引当金計上

2-②. プロセスエンジニアリング事業(対前年同期比)

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	7,069	—	8,708	—	1,638	23.2%
うち、海外受注高	2,012		441		▲ 1,571	▲ 78.1%
売上高	6,673	—	6,805	—	132	2.0%
うち、海外売上高	1,222		1,597		374	30.6%
セグメント利益	240	3.6%	76	1.1%	▲ 164	▲ 68.3%



<受注高>

- 食品の殺菌装置などで大口案件、飲料水のプラント案件
- 医薬の培養関連のプラント案件

<売上高>

- 医薬の培養関連で大口案件
- × 食品機器において顧客の設備投資の延期や納期の後ろ倒し

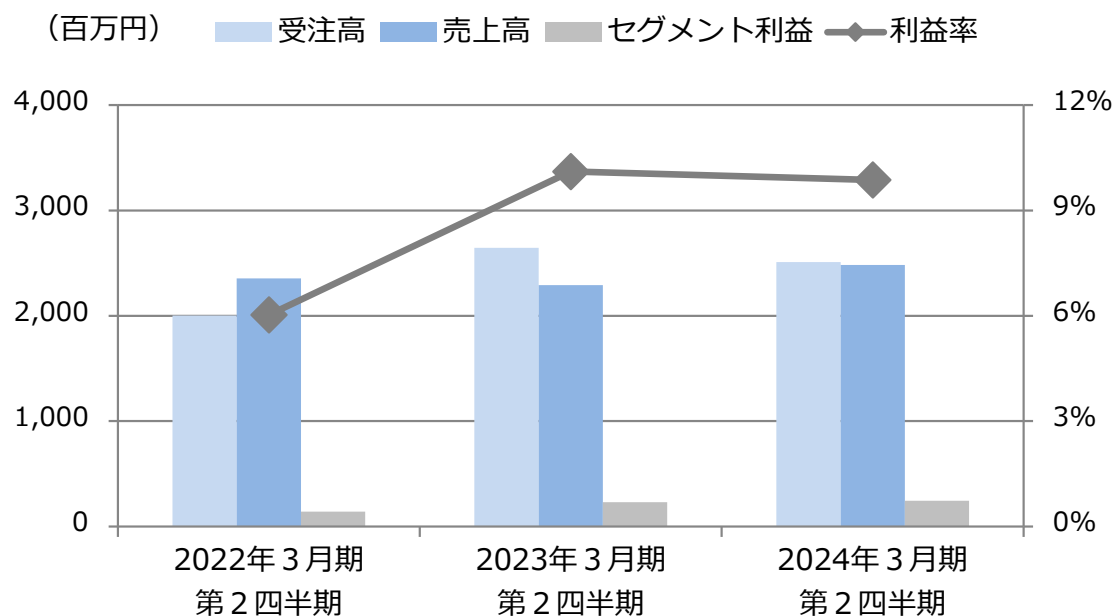
<セグメント利益>

- × 原材料高騰による採算の悪化

2-③. バルブ事業 (対前年同期比)

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	2,646	—	2,511	—	▲ 134	▲ 5.1%
うち、海外受注高	541		448		▲ 92	▲ 17.1%
売上高	2,291	—	2,483	—	191	8.4%
うち、海外売上高	308		323		15	5.0%
セグメント利益	231	10.1%	245	9.9%	13	5.8%



<受注高>

- × 前年同期に受注した海外大口案件の反動減
- × 好調だった前年同期と比較して短納期品の受注が低調
- 二次電池や半導体関連分野向けが好調

<売上高>

- 化学向けに大口案件を納入
- 二次電池や半導体関連分野向けが好調

<セグメント利益>

- 売上高の増加

3-①. セグメント別の業績 (受注高、売上高)

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	7,006	41.8%	8,841	44.0%	1,835	26.2%
プロセスエンジニアリング事業	7,069	42.1%	8,708	43.3%	1,638	23.2%
バルブ事業	2,646	15.8%	2,511	12.5%	▲ 134	▲ 5.1%
その他	48	0.3%	45	0.2%	▲ 3	▲ 6.9%
受注高	16,771	100%	20,107	100%	3,336	19.9%
熱交換器事業	6,542	42.1%	7,186	43.5%	644	9.8%
プロセスエンジニアリング事業	6,673	42.9%	6,805	41.2%	132	2.0%
バルブ事業	2,291	14.7%	2,483	15.0%	191	8.4%
その他	48	0.3%	45	0.3%	▲ 3	▲ 6.9%
売上高	15,555	100%	16,520	100%	965	6.2%

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

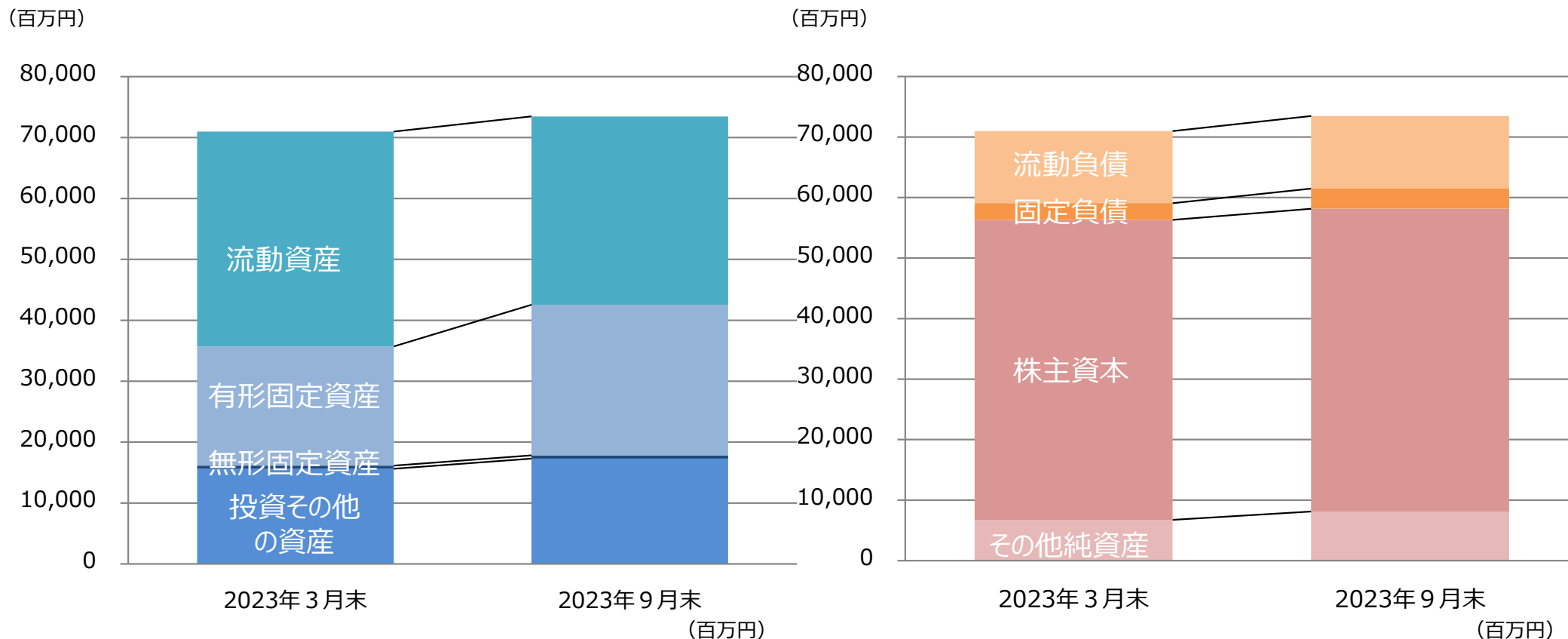
(百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	613	54.7%	543	60.5%	▲ 69	▲ 11.3%
プロセスエンジニアリング事業	240	21.5%	76	8.5%	▲ 164	▲ 68.3%
バルブ事業	231	20.6%	245	27.3%	13	5.8%
その他	36	3.2%	33	3.7%	▲ 2	▲ 6.8%
小計	1,121	100%	898	100%	▲ 222	▲ 19.9%
調整額	▲ 100	—	▲ 47	—	52	—
営業利益	1,021	—	851	—	▲ 170	▲ 16.7%
熱交換器事業	4,673	23.5%	6,865	29.6%	2,191	46.9%
プロセスエンジニアリング事業	13,788	69.3%	14,962	64.5%	1,173	8.5%
バルブ事業	1,444	7.2%	1,356	5.9%	▲ 88	▲ 6.1%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	19,906	100%	23,184	100%	3,277	16.5%

3-③. セグメント別の業績 (計画比)

	2024年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		計画比	
	計画	構成比	実績	構成比	差額	達成率
熱交換器事業	7,800	42.4%	8,841	44.0%	1,041	113.4%
プロセスエンジニアリング事業	8,050	43.7%	8,708	43.3%	658	108.2%
バルブ事業	2,500	13.6%	2,511	12.5%	11	100.5%
その他	50	0.3%	45	0.2%	▲ 4	90.4%
受注高	18,400	100%	20,107	100%	1,707	109.3%
熱交換器事業	7,400	42.3%	7,186	43.5%	▲ 213	97.1%
プロセスエンジニアリング事業	7,550	43.1%	6,805	41.2%	▲ 744	90.1%
バルブ事業	2,500	14.3%	2,483	15.0%	▲ 16	99.3%
その他	50	0.3%	45	0.3%	▲ 4	90.4%
売上高	17,500	100%	16,520	100%	▲ 979	94.4%
熱交換器事業	860	74.1%	543	60.5%	▲ 316	63.2%
プロセスエンジニアリング事業	40	3.5%	76	8.5%	36	190.6%
バルブ事業	230	19.8%	245	27.3%	15	106.6%
その他	30	2.6%	33	3.7%	3	112.9%
小計	1,160	100%	898	100%	▲ 261	77.5%
調整額	▲ 100	—	▲ 47	—	52	—
営業利益	1,060	—	851	—	▲ 208	80.3%

4. 資産・負債・純資産の状況



	2023年3月末	2023年9月末	増減額
流動資産	35,274	30,921	▲ 4,353
有形固定資産	19,562	24,726	5,163
無形固定資産	512	538	26
投資その他の資産	15,628	17,282	1,654
固定資産合計	35,703	42,547	6,844
資産合計	70,977	73,468	2,490

	2023年3月末	2023年9月末	増減額
流動負債	11,907	11,993	85
固定負債	2,767	3,323	555
負債合計	14,675	15,316	640
株主資本	49,546	50,019	472
その他純資産	6,755	8,133	1,377
純資産合計	56,302	58,152	1,850
負債純資産合計	70,977	73,468	2,490

5. 連結キャッシュ・フローの状況

	2023年3月期 第2四半期	(百万円) 2024年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 531	▲ 1,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 681	▲ 4,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 432	▲ 572
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	96
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,543	▲ 6,296
現金及び現金同等物の期首残高	16,141	13,871
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	227
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,598	7,802

2024年3月期 決算の見通し

6-①. 通期修正計画の概要(当初計画比)

(百万円)

	2024年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	当初計画 (2023/5/15公表)	利益率	修正計画 (2023/11/14公表)	利益率	増減額	増減率
受注高	37,000	—	38,000	—	1,000	2.7%
売上高	35,500	—	33,000	—	▲ 2,500	▲ 7.0%
営業利益	2,100	5.9%	1,600	4.8%	▲ 500	▲ 23.8%
経常利益	2,350	6.6%	2,000	6.1%	▲ 350	▲ 14.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,500	4.2%	1,300	3.9%	▲ 200	▲ 13.3%

<受注高> ○ 熱交換器事業において複数の大型案件

<売上高> × 原材料価格の高騰などによる顧客の設備投資の見直し
× 部材の調達難による納期の長期化などから売上時期の後ろ倒し案件発生

<利益> × 売上計画未達
× 材料費の高騰による不採算案件への引当など

6-②. 通期修正計画の概要(前期比)

(百万円)

	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	修正計画 (2023/11/14公表)	利益率	増減額	増減率
受注高	34,621	—	38,000	—	3,378	109.8%
売上高	34,074	—	33,000	—	▲ 1,074	96.8%
営業利益	1,912	5.6%	1,600	4.8%	▲ 312	83.7%
経常利益	2,392	7.0%	2,000	6.1%	▲ 392	83.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,040	6.0%	1,300	3.9%	▲ 740	63.7%

6-③. 通期修正計画の進捗状況

(百万円)

	2024年3月期 通期		2024年3月期 第2四半期		
	修正計画 (2023/11/14公表)	利益率	実績	利益率	通期修正計画 進捗率
受注高	38,000	—	20,107	—	52.9%
売上高	33,000	—	16,520	—	50.1%
営業利益	1,600	4.8%	851	5.2%	53.2%
経常利益	2,000	6.1%	1,146	6.9%	57.3%
親会社株主に帰属する 当(四半)期純利益	1,300	3.9%	814	4.9%	62.7%

7-①. 通期修正計画(セグメント別 当初計画比)

(百万円)

	2024年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	当初計画 (2023/5/15公表)	構成比	修正計画 (2023/11/14公表)	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	15,100	40.8%	16,500	43.4%	1,400	9.3%
プロセスエンジニアリング事業	16,750	45.3%	16,300	42.9%	▲ 450	▲ 2.7%
バルブ事業	5,050	13.6%	5,100	13.4%	50	1.0%
その他	100	0.3%	100	0.3%	—	—
受注高	37,000	100%	38,000	100%	1,000	2.7%
熱交換器事業	14,800	41.7%	14,500	43.9%	▲ 300	▲ 2.0%
プロセスエンジニアリング事業	15,600	43.9%	13,400	40.6%	▲ 2,200	▲ 14.1%
バルブ事業	5,000	14.1%	5,000	15.2%	—	—
その他	100	0.3%	100	0.3%	—	—
売上高	35,500	100%	33,000	100%	▲ 2,500	▲ 7.0%
熱交換器事業	1,730	75.2%	1,370	78.7%	▲ 360	▲ 20.8%
プロセスエンジニアリング事業	100	4.4%	▲ 80	▲ 4.6%	▲ 180	—
バルブ事業	410	17.8%	390	22.4%	▲ 20	▲ 4.9%
その他	60	2.6%	60	3.5%	—	—
小計	2,300	100%	1,740	100%	▲ 560	▲ 24.3%
調整額	▲ 200	—	▲ 140	—	60	—
営業利益	2,100	—	1,600	—	▲ 500	▲ 23.8%

7-②. 通期修正計画(セグメント別 前期比)

(百万円)

	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	修正計画 (2023/11/14公表)	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	14,059	40.6%	16,500	43.4%	2,440	17.4%
プロセスエンジニアリング事業	15,536	44.9%	16,300	42.9%	763	4.9%
バルブ事業	4,934	14.2%	5,100	13.4%	165	3.4%
その他	90	0.3%	100	0.3%	9	10.1%
受注高	34,621	100%	38,000	100%	3,378	9.8%
熱交換器事業	13,418	39.4%	14,500	43.9%	1,081	8.1%
プロセスエンジニアリング事業	15,869	46.6%	13,400	40.6%	▲ 2,469	▲ 15.6%
バルブ事業	4,696	13.8%	5,000	15.2%	303	6.5%
その他	90	0.2%	100	0.3%	9	10.1%
売上高	34,074	100%	33,000	100%	▲ 1,074	▲ 3.2%
熱交換器事業	814	39.6%	1,370	78.7%	555	68.1%
プロセスエンジニアリング事業	833	40.6%	▲ 80	▲ 4.6%	▲ 913	—
バルブ事業	339	16.5%	390	22.4%	50	15.0%
その他	66	3.3%	60	3.5%	▲ 6	▲ 10.4%
小計	2,054	100%	1,740	100%	▲ 314	▲ 15.3%
調整額	▲ 142	—	▲ 140	—	2	—
営業利益	1,912	—	1,600	—	▲ 312	▲ 16.3%

7-③. 通期修正計画の進捗状況(セグメント別)

(百万円)

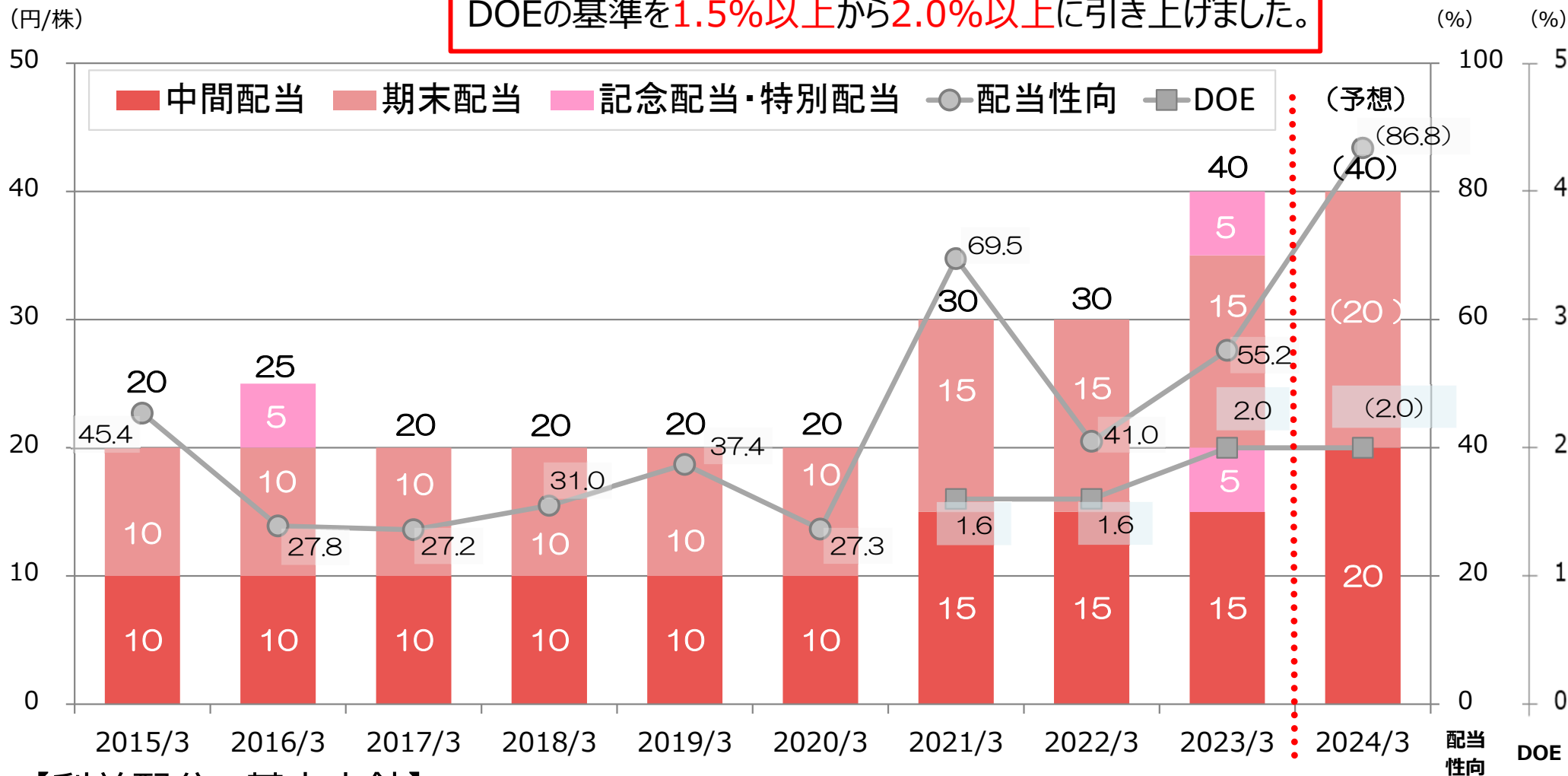
	2024年3月期 通期		2024年3月期 第2四半期		通期修正計画 進捗率
	修正計画 (2023/11/14公表)	構成比	実績	構成比	
熱交換器事業	16,500	43.4%	8,841	44.0%	53.6%
プロセスエンジニアリング事業	16,300	42.9%	8,708	43.3%	53.4%
バルブ事業	5,100	13.4%	2,511	12.5%	49.3%
その他	100	0.3%	45	0.2%	45.2%
受注高	38,000	100%	20,107	100%	52.9%
熱交換器事業	14,500	43.9%	7,186	43.5%	49.6%
プロセスエンジニアリング事業	13,400	40.6%	6,805	41.2%	50.8%
バルブ事業	5,000	15.2%	2,483	15.0%	49.7%
その他	100	0.3%	45	0.3%	45.2%
売上高	33,000	100%	16,520	100%	50.1%
熱交換器事業	1,370	78.7%	543	60.5%	39.7%
プロセスエンジニアリング事業	▲ 80	▲ 4.6%	76	8.5%	—
バルブ事業	390	22.4%	245	27.3%	62.9%
その他	60	3.5%	33	3.7%	56.5%
小計	1,740	100%	898	100%	51.7%
調整額	▲ 140	—	▲ 47	—	—
営業利益	1,600	—	851	—	53.2%

8. 設備投資・減価償却の状況

		(百万円)				
		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
		実績	実績	実績	上期実績	計画
設備投資	1,424	1,757	4,956	5,582	7,000	
	内容	熱交換器事業のソフトウェア、プロセスエンジニアリング事業・バルブ事業の機械設備、生駒事業所の造成工事 など	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の造成工事 など	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の建築工事 など	熱交換器事業の生産能力増強及びソフトウェア、プロセスエンジニアリング事業、バルブ事業の設備更新、生駒事業所の建築工事 など	
減価償却	997	1,130	1,045	536	1,450	

9. 配当の計画

株主の皆様のご支援にお応えして2024年3月期より
DOEの基準を**1.5%以上**から**2.0%以上**に引き上げました。



【利益配分の基本方針】

全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)2.0%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

企業価値向上に向けた 取り組み

10-①. 成長戦略(長期ビジョン)

長期ビジョン【2043年3月期(創業100周年)】

流体の熱と圧力の制御技術を結集し、
エネルギー・水・食の明日(あした)を、お客様と共に支える企業になる

価値の源泉

「総合力」を十分に
発揮できる
「組織」、「人材」



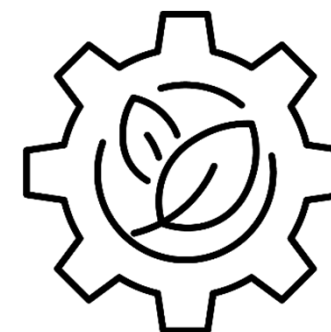
提供価値

「社会課題」を
解決する「総合力」



貢献分野

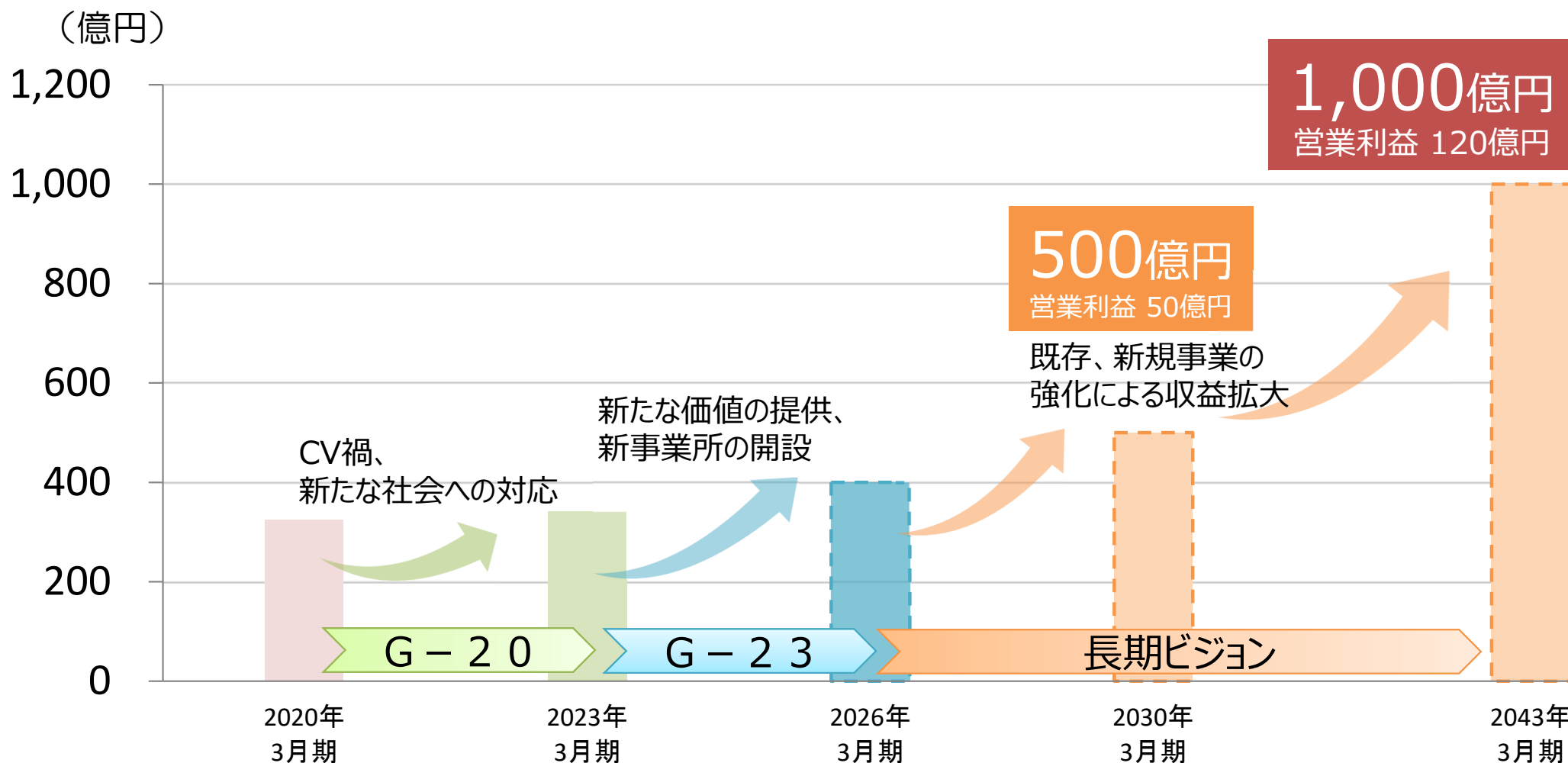
「社会課題」に
直面する
お客様、業界、市場



10-②. 成長戦略(連結業績目標)

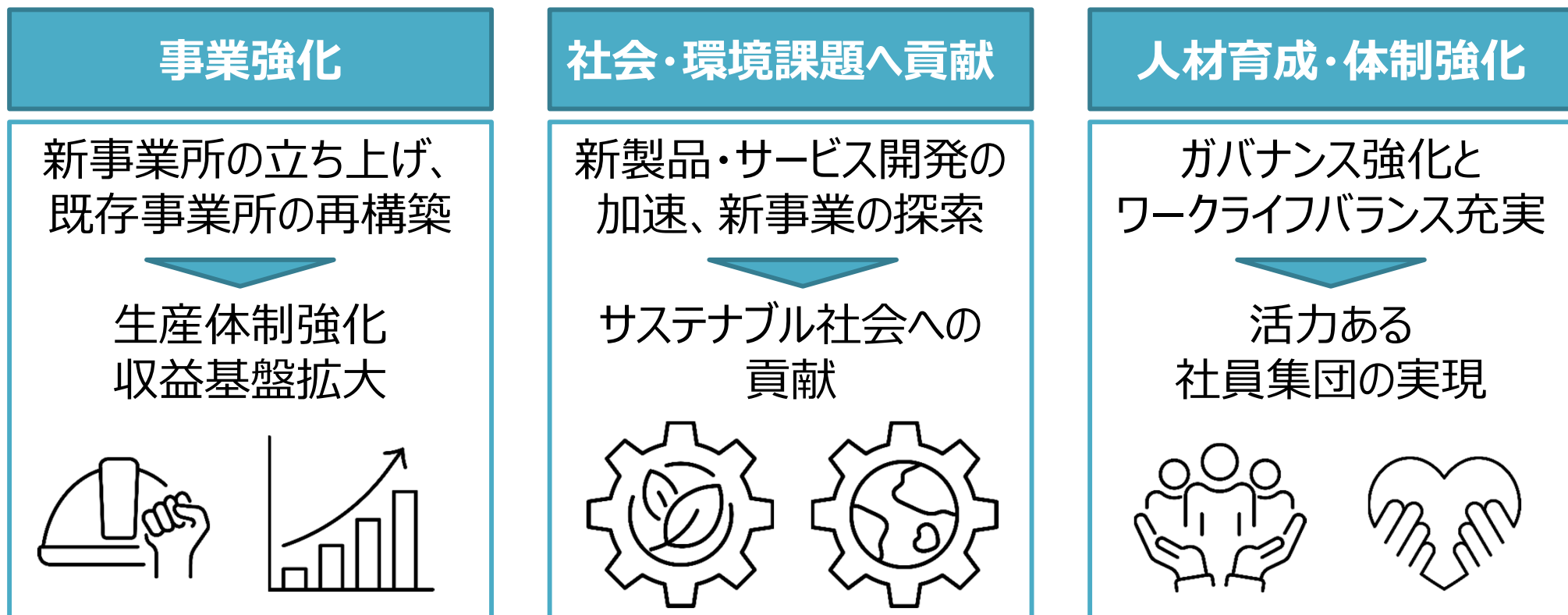
2043年3月期

売上高 1,000億円 営業利益 120億円



11. 中期経営計画「G-23」基本方針

重要課題（マテリアリティ）への対応



E（環境）

- 持続可能な地球環境への貢献
- CO₂排出量の削減

G（企業統治）

- 更なるガバナンスの強化
- ステークホルダーへの公平かつ公正な利益配分

S（社会）

- 活力ある社員集団の実現
- 地域社会とのつながり
- BCP運用と継続的な見直し

その他の課題

- 大型投資（新事業所開設、既存事業所再構築）
- 収益力の強化
- 新商品開発促進と新規事業の探索
- DX、デジタル技術の活用

12-①. 「G-23」 取り組み指針

様々な社会課題に対して当社の価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献する。

社会課題	環境	人口	経済	労働	食	医療
	・カーボンニュートラル ・異常気象、災害	・少子高齢化 ・途上国の人口急増	・インフレ ・ローライゼーション	・ダイバーシティ ・サステナビリティ	・食の安全 ・フードロス	・パンデミック ・介護、医療格差



「G-23」(新中期経営計画)

前中期経営計画「G-20」からの施策を実行に移す

お客様のニーズに合わせた製品・サービス展開

- 熱ソリューション ● 食品ロス削減、食の安全
- 省エネソリューション ● ニーズ探索力・対応力強化

- 生駒事業所稼働 ● 関係会社再編

製品・製造の標準化推進によるQCD改善

さらなる社会課題解決へ長期的な取り組み加速

カーボンニュートラル関連市場向け
製品開発、採用拡大

鴻池事業所再構築 (生産体制強化)

新基幹システムの導入

サービスの革新

人材採用・育成・働き甲斐向上

長期ビジョン

「流体の熱と圧力の
制御技術を結集し、
エネルギー・水・食の
明日(あした)を、
お客様と共に支える
企業になる」

CSR-SDGsビジョン

「SDGsを取り入れた
企業経営により
自らが持つ総合力で
社会課題を解決し、
持続可能な社会の
実現に貢献する」

社訓

「誠心(まごころ)」

社是


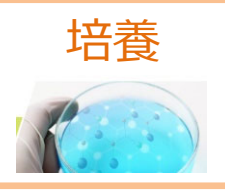


「世界に定着する日阪」
「豊かな人間性の追求」

2043年3月期
(創業100周年)
業績目標

売上高
1,000億円

営業利益
120億円

12-②. 「G-23」当社が取り組む領域

	環境	安全・安心	便利・快適
お客様のニーズに合わせた事業展開	脱炭素 	殺菌 (食品向け) 	サービス拡充 遠隔サービス (DX) 
	食品ロス低減 	培養 	メンテナンス まるごとぱっく 
お客様のニーズに合わせた事業展開	未利用熱の活用提案 	滅菌 (医薬向け) 	カスタマイズ対応 ニーズを汲んだ商品開発 
	環境配慮型製品/省エネ製品 	高品質 (食品・医療・半導体) 	チーム力 対応力強化 自動化対応 チョコ弁 
事業基盤の強化	機器単体売りからソリューション提供へ  熱ソリューション		標準品の競争力強化 標準機種刷新 機種種の統廃合
	 FA対応強化		設計標準化 品質強化
<ul style="list-style-type: none"> ● 生産体制強化 生駒事業所開設 鴻池事業所の再構築 ● HNPS HISAKA NEW PRODUCTION SYSTEM 			<ul style="list-style-type: none"> ● 販売体制強化 ● 人材育成
<ul style="list-style-type: none"> ● 資本政策 ● サステナビリティ委員会 ● TCFDへの取り組み 			

13-①. 事業別の成長戦略(熱交換器事業)

<カーボンニュートラルへの貢献>

熱交換器による熱の再利用



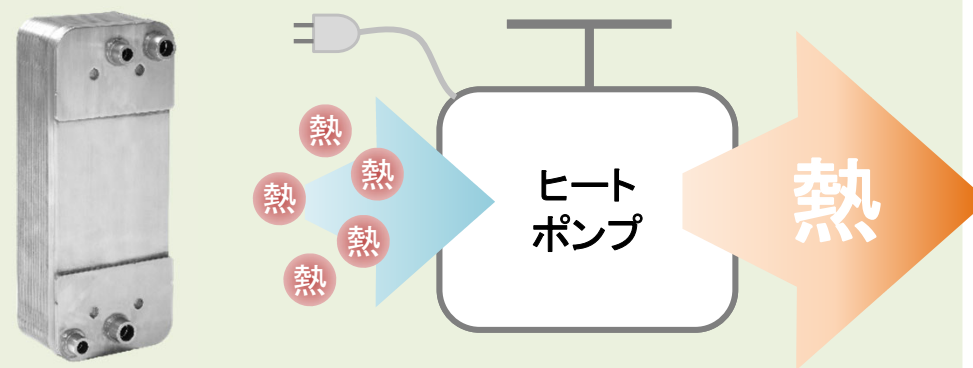
CO₂回収装置向け



水素製造装置向け



ヒートポンプ向け

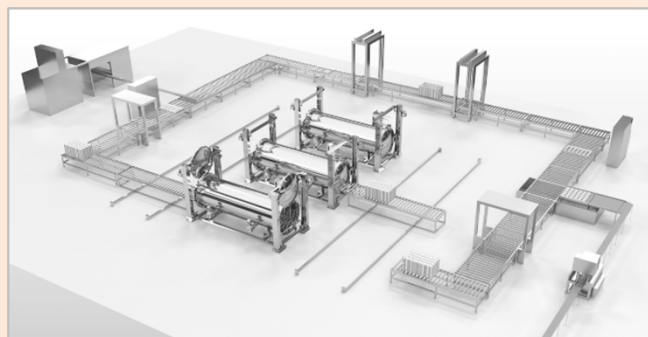


13-②. 事業別の成長戦略(プロセスエンジニアリング事業) **HISAKA**

<食品ロス削減、医薬品供給、環境改善への貢献>

食品 個食化進展による加工食品市場拡大
省人化ニーズに応える自動化対応

医薬 医薬品安定供給に向け設備投資加速
抗体医薬品やワクチンなど培養装置



グループ会社再編 (2023年10月)
国内2社を統合「(株)日阪プロダクツ」

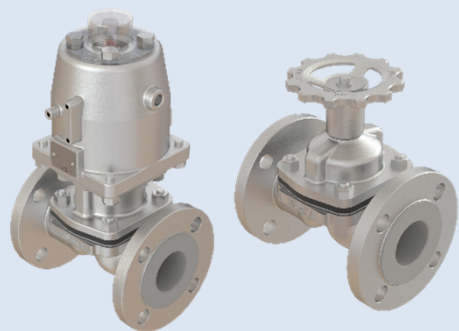
染色 環境負荷低減製品の需要拡大
節水型新製品の開発、販売強化



13-③. 事業別の成長戦略(バルブ事業)

<新製品の開発、販売拡大>

ダイヤフラムバルブ（新製品）

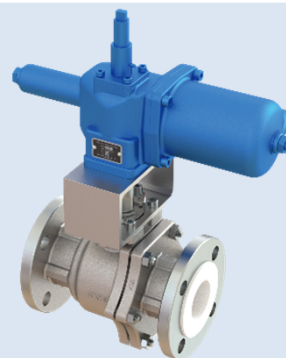


オール
ステンレス

×

PFA
ライニング

ライニングボールバルブ（新製品）

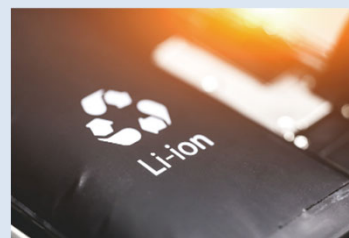


ステンレス
ボディ

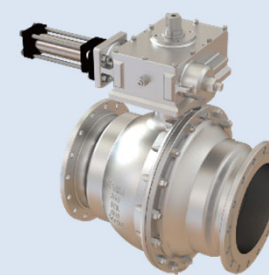
×

PFA
樹脂

重点市場
（二次電池、産業ガス、環境分野）



アライアンス、新たな用途限定弁による新市場開拓



13-④. 事業別の成長戦略(海外展開)

熱交換器事業

- 中東向けメンテナンス事業の強化
- グローバルモノづくり体制の構築

プロセスエンジニアリング事業

- アジア向け食品機器、染色仕上機器の強化
- 中国における漢方生薬市場拡大への対応

バルブ事業

- 東南アジア向け営業の強化

14. 成長投資（設備投資、人的投資、研究開発）

設備投資

生駒事業所開設

- ▶ プロセスエンジニアリング事業の生産体制強化、新規事業の研究・開発

鴻池事業所再構築

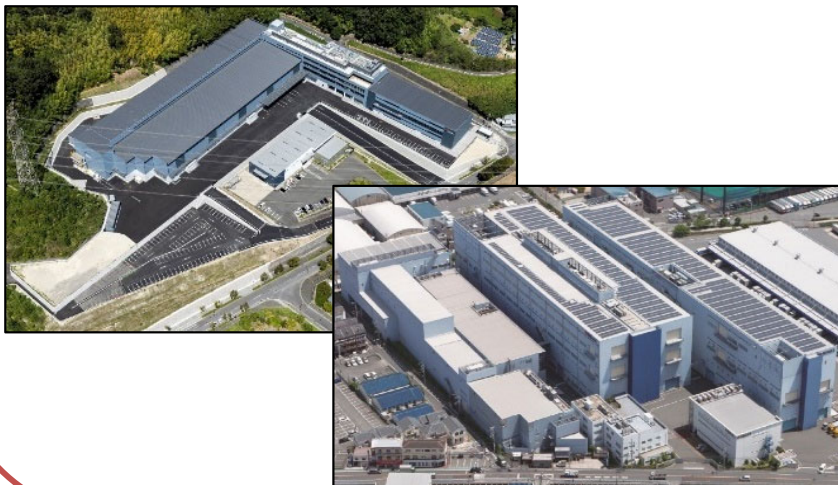
- ▶ 熱交換器事業、バルブ事業の生産体制強化

海外拠点の拡充

- ▶ 海外事業の強化

基幹システム更新

- ▶ 生産性向上



研究開発

新製品、サービスの開発

- ▶ 社会課題解決に貢献する製品
- ▶ 市場ニーズに対する製品開発
- ▶ 新しい標準機種

新規事業の開発

- ▶ コア技術（流体の熱と圧力の制御技術）で社会課題を解決する新事業の開発と事業化を推進

人的投資

経営理念「HISAKA MIND」の浸透

- ▶ 社訓「誠心」を中心とした経営理念により、海外を含むグループ全社員の一体化

新処遇制度の策定・運用

- ▶ 人材が生き生きと活躍する社内風土醸成

健康経営の推進

- ▶ 心身ともに健康な活力ある社員集団実現

15-①. 生駒事業所の概要

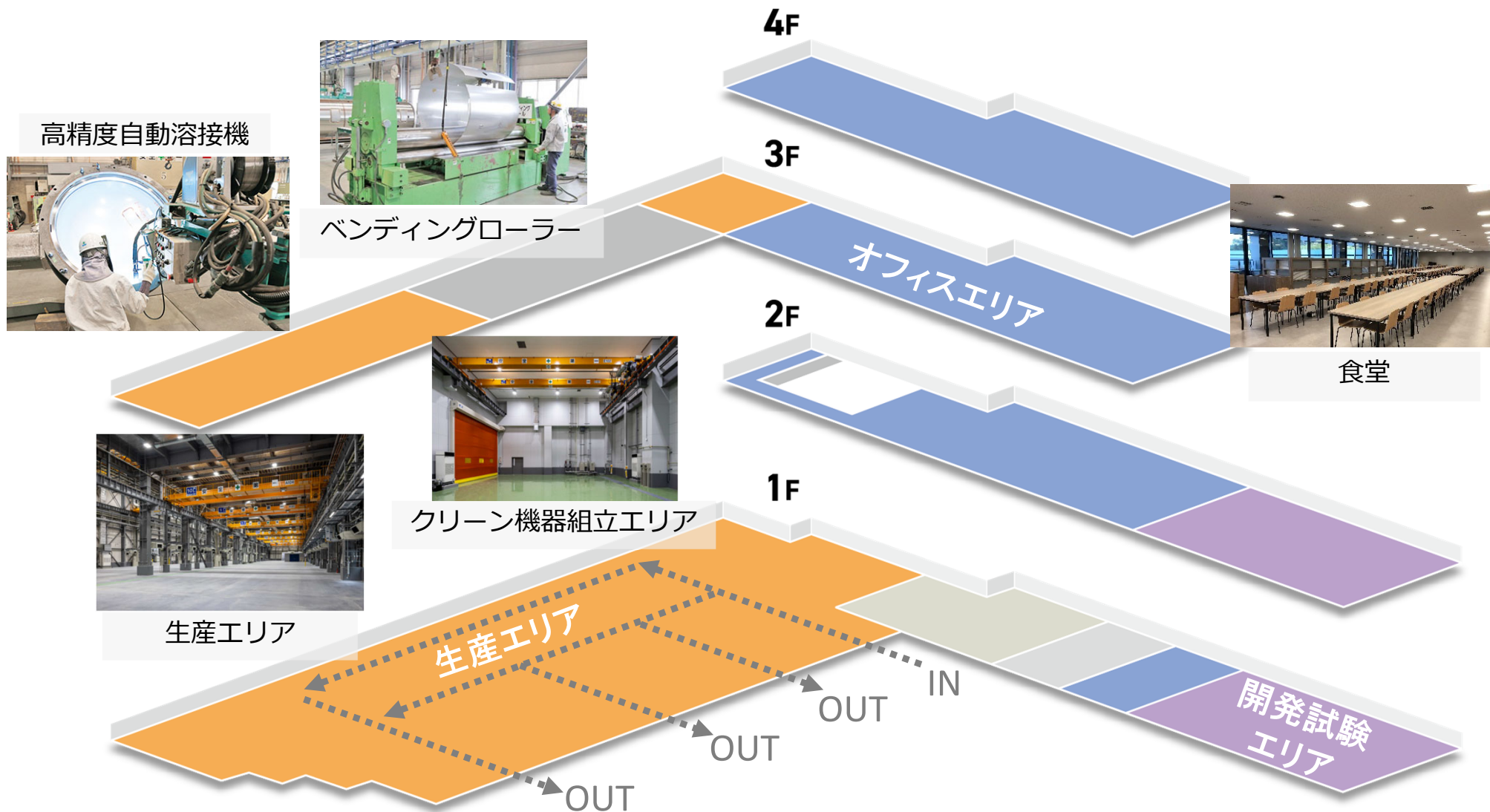


⊖ 日阪製作所
生駒事業所

※敷地境界線はイメージです。

名称	生駒事業所
所在地	奈良県生駒市
生産品目	プロセスエンジニアリング事業 (食品機器、医薬機器、染色仕上機器)
面積	敷地面積 5.2万㎡ / 延床面積 2.4万㎡
開設日	2024年1月 ※2023年12月より一部稼働開始
人員数	約350名 ※フル稼働時、管理部門を含む
生産規模	約200億円

15-②. 生駒事業所の生産体制



- 広い平面を活かした、高効率なラインで生産性向上
- 開発試験エリアでは、顧客の製品開発をサポートするほか、当社の新事業開発を推進

16. 株主還元強化

- 株主への利益還元、強固な財務基盤の確保、戦略的投資をバランスよく考慮する
- 「R O E」を株主価値向上の重要指標とし、資本コストを上回る R O Eを目指す

株主への利益還元

- ◆ 連結業績を勘案しつつ **DOE 2.0%以上**、配当性向30%以上を目途に業績連動の配当を実施

⇒ 2024年3月期より DOEの基準を 1.5%以上→2.0%以上へ引き上げ。

- ◆ 政策保有株式売却資金、キャッシュフローの状況を勘案し自己株式取得を実施

株主価値向上

効率的な資本政策で
資本コストを上回る
R O Eを目指す

強固な財務基盤の確保

- ◆ 財務体質の強化

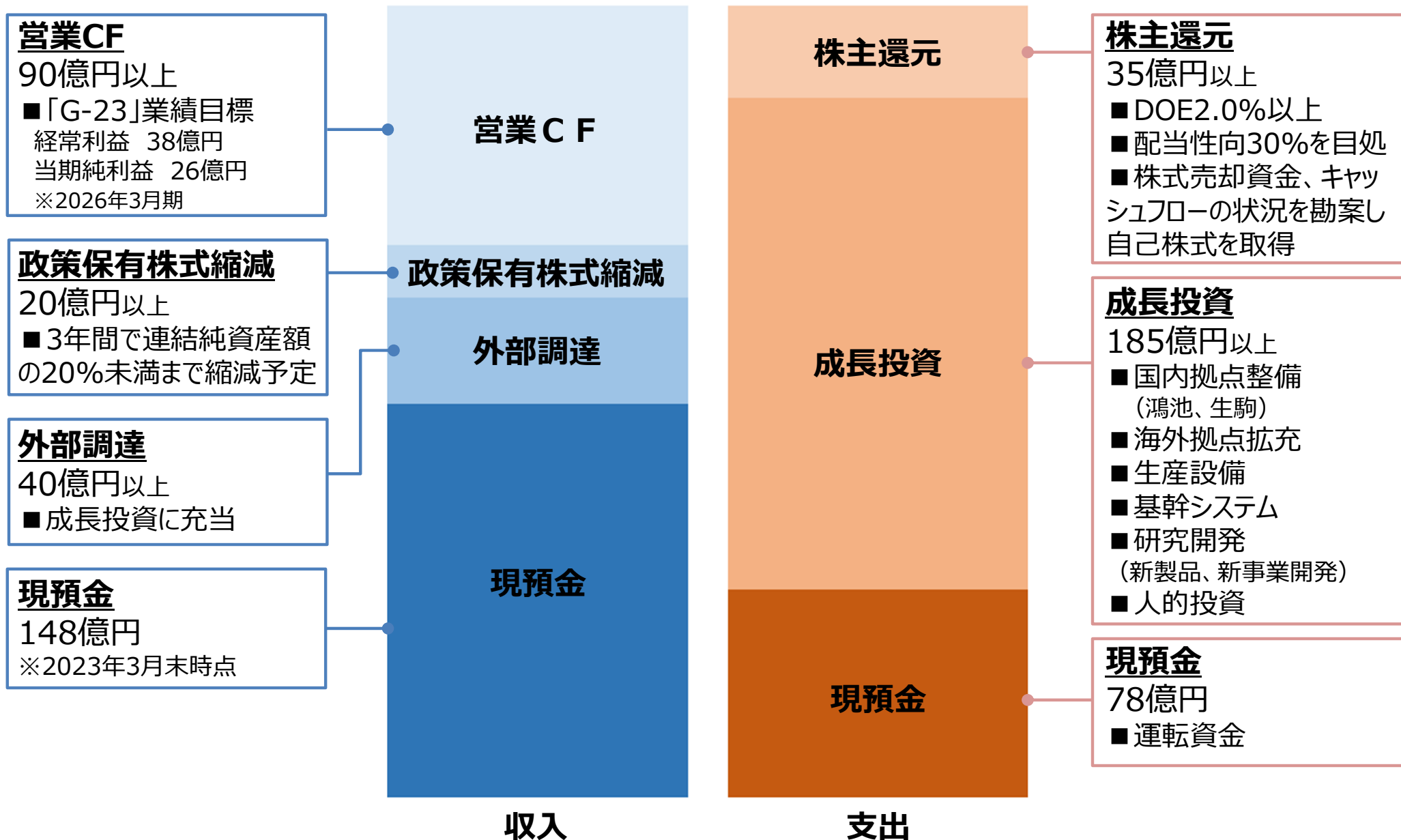
戦略的投資

- ◆ 経営基盤の強化
新事業所開設
新事業開発
⇒「G-23」において、**生駒事業所開設、
鴻池事業所再構築を実施。**

※ DOE:連結純資産配当率
配当金につきましては、
P 23「配当の計画」もご覧ください。

17. 財務戦略(キャッシュアロケーション)

「G-23」(2024年3月期~2026年3月期) 累計



18. IR活動の強化

投資家との対話強化

- 1 o n 1 ミーティング、スモールミーティングの強化
- 工場見学会の開催
- 英文開示の推進



個人 I R の強化

- W E B サイトでの情報発信強化
- 個人向け説明会の開催検討
- 長期保有を促す株主優待制度の継続



<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。